



株式会社 長 大

人・夢・技術

News Release

平成 30 年 3 月 9 日

株式会社 長 大

171 名参加、日本・フィリピン両国の経済委員会が主催 ドゥテルテ政権の掲げるインフラ整備政策「ビルド・ビルド・ビルド」をテーマに 「第 36 回日比経済合同委員会」の全体会議で講演 ミンダナオ島のブトゥアン地域での地域開発事業のほか、フィリピンでの取り組みを紹介

株式会社長大(東証一部上場、証券コード 9624。永治泰司・代表取締役社長。以下「当社」)は、2月22日(木)に、フィリピンのマニラで開催された「第36回日比経済合同委員会」(The 36th Joint Meeting of the Philippines and Japan Economic Cooperation Committees)に参加、講演のために登壇いたしました。

日比経済合同委員会は、日本側の「日比経済委員会」(代表世話人:朝田照男氏(丸紅(株)取締役会長)、片野坂真哉氏(ANA ホールディングス(株)代表取締役社長)、小林健氏(三菱商事(株)代表取締役会長))と、フィリピン側の「比日経済委員会」(委員長:Mr. Roberto Jose L. Castillo(President and CEO, EEI Corporation))が合同で開催するものです。日比経済委員会の委員数は現在 39 社で、当社は昨年 11 月に入会いたしました。

今回が第 36 回目となった合同委員会は、1974 年のマニラでの第 1 回合同委員会以降、原則として毎年 1 回、マニラと東京で交互に開催され、両国間の貿易、投資、観光等の問題について討議が行われてきました。

マニラ首都圏のマカティ市にあるニューワールドホテルマカティで開催された今回の合同委員会には、アーネスト・ペルニャ国家経済開発庁(NEDA)長官、アーサ・ツガデ運輸大臣、羽田浩二・駐フィリピン共和国日本特命全権大使、ホセ・ラウレル 5 世・駐日フィリピン共和国特命全権大使らの来賓に加えて、日本側からは、朝田照男・代表世話人をはじめ 84 名、フィリピン側からアニセト・サルード委員長(Managing Partner, Saludo Fernandez Aquino & Daleon Law)など 87 名、過去 10 年で最大規模となる総勢 171 名が参加いたしました。

今回の合同委員会は、ドゥテルテ政権の掲げるインフラ整備政策「ビルド ビルド ビルド」をテーマとして、日本とフィリピンの双方から、マニラ空港の混雑緩和や日本政府が支援する南北通勤鉄道やメガマニラ地下鉄整備などについて、日比双方の企業・団体が様々な立場から意見発表を行い、発熱した議論が行われました。

当社からは、塩釜浩之・取締役上席執行役員・経営企画本部長、宗広裕司・事業推進本部事業企画部長が参加したほか、午後の第 2 回全体会議で、「“ビルド・ビルド・ビルド”プログラムへの参加」(Participating in the “Build Build Build” Program)と題したセッションにおいて、経営企画本部財務・法務部長で、長大フィリピン社長

を兼務する加藤聡が登壇、講演を行いました。

本セッションは日比から民間企業 5 社が登壇しており、当社は、株式会社日立製作所と日本航空株式会社と共に、日系企業 3 社の一角として、「長大がミンダナオで取り組む地域開発事業」(PPP Projects towards Sustainable Regional Development in Caraga, Mindanao)と題した発表を実施しています。

発表内容は、はじめに長大グループの紹介をした後、2011年からミンダナオ島北東部のブトゥアン市周辺地域で進める地域開発事業の取り組みと、当社自身の経験も踏まえて、ミンダナオの開発のポテンシャルと日系企業の事業展開の可能性について説明。最後は、当社の起源が「橋梁」事業であったことを引き合いに、ビジネスを通じて、当社は日本とフィリピンの「架け橋」になるとの意気込みを伝えて講演を締め括りました。

続く質疑応答のセッションでは、「フィリピン、とりわけミンダナオでの事業のリスクと、その対応策は?」、「ミンダナオにもっと多くの日本企業が参入するには何が必要か?」など、当社を指名した複数の質問が出ており、参加者の当社の活動に対する関心の高さが伺えるものでした。

当社はこれまで、雇用不足と和平問題が根深く存在する比国ミンダナオ島において、同島北東部カラガ地域の中心都市ブトゥアン市を拠点とし、同市に本拠地を置くエクイパルコ・コンストラクション・カンパニー(ルーベン・ジャビエール・CEO。以下「エクイパルコ社」)、およびツインピーク・ハイドロ・リソース・コーポレーション(高野元秀・社長。以下「ツインピーク社」と共に、様々な事業を通して地域の経済開発に貢献して参りました。日比経済委員会への加入や、今回の合同委員会での講演は、こうしたフィリピンでの地道な活動が評価されたものです。

尚、合同委員会前日の 2 月 21 日、フィリピン大統領府(マラカニアン宮殿)で開催されたウェルカムレセプションに日比双方から約 100 名が参加、当社からは、塩釜浩之取締役、宗広裕司・事業企画部長、加藤聡・長大フィリピン社長が参加。また、22 日の合同委員会終了後、羽田大使主催の夕食会が大使公邸で開催され、日比双方から約 40 名(うち日本側:約 20 名)が参加、当社からは塩釜浩之取締役が招待を受けて参加しています。

こうした場でも、当社のミンダナオでの取り組みに対する事業内容や経緯、今後の展開などについて、他の参加者から多くの問い合わせを受けるなど、初のミンダナオ島出身であるドゥテルテ大統領の影響もあり、改めて当社や当社のミンダナオ事業への注目の高さが感じられました。

当社は引き続き、日本の政府系機関や地方自治体、民間企業の参画機会を最大限に増やすべく、日本や日本企業とのつなぎ役としての機能を担いながら、ブトゥアン市周辺エリアをはじめ、ミンダナオ島の経済発展に強く貢献をしていきたいと考えております。

■お問い合わせ

本件に関する報道機関からのご照会は、以下へお願い申し上げます。

<p>宗広裕司 (むねひろ・ゆうじ) 株式会社長大 事業推進本部 事業企画部長</p> <p>Eメール: munehiro-y@chodai.co.jp 電話: 03-6867-8055</p>	<p>加藤聡 (かとう・さとし) 株式会社長大 経営企画本部 財務・法務部長 長大フィリピン・コーポレーション 社長</p> <p>Eメール: katou-sa@chodai.co.jp 電話: 03-3639-3465</p>
---	--

■参考資料:

1.「日比経済委員会」とは

1972年10月、フィリピン経済使節団が来日した際、日比経済合同委員会設置について強い要望があり(日本側委員会の代表世話人は、北裏喜一郎、五島昇の両氏)、74年3月に第1回合同委員会をマニラで開催しました。原則として毎年1回、交互に合同委員会を開催し、両国間の貿易、投資、観光等の問題について討議を行っております。また、大統領や主要経済閣僚が訪日する際には関係団体と共催でセミナーや昼食会を随時開催しております。

(出典:東京商工会議所ホームページ(<http://www.tokyo-cci.or.jp/about/international/philippines/>)より)

2.当日の写真 (解像度が高いデータは別途ご提供いたします)



▲ 会場全体の様子



▲ 講演する加藤聡・長大フィリピン社長①



▲ 講演する加藤聡・長大フィリピン社長②



▲ 質問に答える加藤聡・長大フィリピン社長(右端)
(右から2番目:清水光彦・日立アジア フィリピン支店長)、
中央:大西賢・JAL 会長)

【写真提供:日比経済委員会】

3.プログラム

日時：2018年2月22日 9:30～17:00

場所：ニューワールド・マカティ・ホテル

タイムスケジュール：

8:30 - 9:30	登録受付
9:30 - 9:50	フィリピン共和国・日本国 国歌斉唱 開会式
	(1)開会挨拶 アニセト・G・サルードジュニア／比日経済委員会 (PHILJEC) 会長 朝田照男／日比経済委員会 代表世話人
	(2)両国首脳メッセージ ロドリゴ・R・ドゥテルテ／フィリピン共和国大統領 (ホセ・ラウレル 5 世・駐日フィリピン共和国特命全権大使 代読) 安倍晋三／日本国首相 (羽田浩二・駐フィリピン共和国日本特命全権大使 代読)
9:50-10:20	基調講演：アーネスト・ペルニア／国家経済開発庁 (NEDA) 長官
10:20-10:30	質疑応答
10:30-10:50	コーヒーブレイク
10:50-11:00	役員選出／議題および議事手続きの採択
11:00-12:00	第1回全体会議
11:00-11:20	(1)エドアルド・V・フランシスコ／BDO キャピタル・インベストメント社 社長
11:20-11:40	(2)「“ビルド・ビルド・ビルド”プログラムに対する JICA の支援」 伊藤晋s／JICA フィリピン事務所長
11:40-12:00	質疑応答
12:00-13:30	比日経済委員会主催昼食会
13:30-15:30	第2回全体会議 “ビルド・ビルド・ビルド”プログラムへの参加
13:30-13:50	(1)ロベルト・ホセ・L・カスティロ／EEI コーポレーション 会長兼 CEO
13:50-14:10	(2)「世界を変えるソーシャルイノベーション」 清水光彦／日立アジア フィリピン支店長
14:10-14:30	(3)「長大がミンダナオで取り組む地域開発事業」 加藤聡／長大フィリピン・コーポレーション 社長
14:30-14:50	(4)「インフラストラクチャーとしての空港の重要性と日比の協力」 大西賢／日本航空株式会社 会長
14:50-15:10	(5)マニュエル・V・パンギリナン／メトロ・パシフィック・グループ 会長
15:10-15:30	質疑応答
15:30-15:50	コーヒーブレイク
15:50-16:30	ゲストスピーカー：“ビルド・ビルド・ビルド”プログラムの実施 アーサ・ツガデ／運輸大臣 (Department of Transportation (DOTr))
16:30-16:50	質疑応答
16:50-17:15	閉会挨拶 アニセト・G・サルードジュニア／比日経済委員会 (PHILJEC) 会長 朝田照男／日比経済委員会 代表世話人 写真撮影・事務連絡
17:30-20:00	比日経済委員会主催カクテルレセプション

4.お礼状



**JAPAN—PHILIPPINES
ECONOMIC COOPERATION COMMITTEE**

c/o The Japan Chamber of Commerce and Industry
5-1 Marunouchi 2-chome, Chiyoda-ku, Tokyo 100-0005, Japan
Tel: +81-3-3283-7876 Fax: +81-3-3216-6497 E-mail: kokusai@jcci.or.jp



日比経委発第 14 号

平成 30 年 2 月 28 日

長大フィリピン・コーポレーション

社長 加藤 聡 様

日比経済委員会

代表世話人 朝田 照男



拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、このたびの第 36 回日比経済合同委員会に際しましては、ご多用の中、貴社がミンダナオで取り組まれている地域開発事業についてご高話を賜り、誠にありがとうございました。お蔭をもちまして、本合同委員会は成功裡に終了することができました。

当委員会といたしましては、両国経済関係の一層の緊密化に向けて、今後とも努力してまいりますので、引き続きご支援・ご協力のほど、よろしく願い申し上げます。

末筆乍ら、貴台のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、略儀乍ら、書中をもって厚くお礼申し上げます。

敬 具